

第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム

東北大学・東京海上日動 産学連携研究成果発表会

東北大学災害科学国際研究所地震津波リスク評価

(東京海上日動) 寄附研究部門

日英同時通訳サービスあり

～津波リスク研究と防災啓発活動～

2011年東日本大震災をきっかけに、東北大学災害科学国際研究所(IRIDeS)では、2012年の開所当初から東京海上日動の寄附を受け、地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門を設置し、産学連携研究を通じて強靱なコミュニティづくりを推進してきました。本イベントでは、①地震津波リスク研究 ②津波避難研究 ③防災教育・啓発活動等の3年間の研究成果を、主に教授陣の講演形式で発表いたします。

時間

プログラム

9:00	開場
9:15	開会挨拶 東北大学災害科学国際研究所 所長 教授 今村文彦
9:20-9:55	「グローバルリスクとIRIDeSの役割」 東北大学災害科学国際研究所 教授 今村文彦
9:55-10:20	「津波リスク研究～津波災害リスク評価の基盤となる津波被害関数～」 東北大学災害科学国際研究所 准教授 サッパシー・アナワット
10:20-10:40	「津波リスク研究～東北地方太平洋沖地震津波の教訓を活用した津波リスク評価手法の開発～」 東北大学災害科学国際研究所 助手 福谷陽
10:40-10:55	休憩
10:55-11:15	「地域防災力を高めるために～防災教育・減災意識啓発の展望～」 東北大学災害科学国際研究所 助手 保田真理
11:15-11:35	「津波から身を守るために～避難計画・訓練の取組実践～」 東北大学災害科学国際研究所 助手 安倍祥
11:35-11:55	「産学連携研究と保険・リスクマネジメントを通じた地域防災力の向上」 東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部部長 長村政明
11:55	閉会挨拶 東京海上日動火災保険株式会社 取締役会長 隅修三
12:00	終了



今村 文彦 氏
いむら ふみひこ

東北大学災害科学国際研究所 所長 教授。

1989年東北大学大学院工学研究科卒業。東北大学大学院工学研究科付属災害制御研究センター・助教授を経て2000年に同教授に就任。2014年に東北大学災害科学国際研究所所長に就任。専門分野は津波被害の軽減を目指す津波工学。

開催日時

2015年3月16日(月) 9:00～12:00

開催場所

東北大学川内北キャンパス B200 教室 住所:〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内4-1

定員

200名

申し込み方法

裏面の項目に必要事項をご記入の上 FAX または e-mail でお申し込み下さい。(3月6日(金)締切)

入場
無料



東北大学と東京海上日動は第3回国連防災世界会議を支援しています。

参加申込みフォーム

下記の必要事項をご記入の上、**FAX**でお申し込みください。**e-mail**でお申し込み希望のお客様は、下記の必要事項を参照、入力の上、指定アドレスまで送信をお願いいたします。

FAX 申込書

*必要事項をご記入の上、**FAX**でお申し込みください。

氏名	
所属	
住所	
電話番号	
e-mail アドレス	

・定員を上回る申し込みをいただいた場合など参加頂けない場合には、e-mail でご連絡いたします。
・ご記入頂いた個人情報は、本フォーラムの運営のためにのみ利用させていただき、他の目的で利用することは一切ございません。ご同意いただいた上で申し込み下さい。

FAX 022-752-2108

e-mail fukutani@irides.tohoku.ac.jp

担当：東北大学災害科学国際研究所地震津波リスク評価寄附研究部門：福谷陽（フクタニヨウ）
TEL：022-752-2107

第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム

東北大学・東京海上日動 産学連携研究成果発表会

東北大学災害科学国際研究所地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門

入場
無料

開催日時 2015年3月16日（月）9:00～12:00

開催場所 東北大学川内北キャンパス B200 教室



仙台駅からのアクセス

仙台駅前のりば、「9番のりば」で仙台市営バス「宮教大・青葉台行青葉通経由動物公園循環」行き乗車「東北大川内キャンパス・萩ホール前」下車。（約15分、運賃180円）